

要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : トリス (2,3-ジブロモプロピル) ホスフェートのオオミジンコ
(*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試 験 番 号 : A020373-3

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン : OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)
- 2) 暴露方式 : 半止水式(毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 21日間
- 5) 試験濃度 : 対照区, 助剤対照区, 0.150, 0.350, 0.820, 1.92, 4.50 mg/L
(設定値) (公比: 2.3)
ただし 4.50 mg/Lは試験液調製可能最高濃度
助剤濃度一定: 100 μ L/L (シメチリンアミド使用)
- 6) 試験液量 : 80 mL/容器
- 7) 連 数 : 10容器/試験区
- 8) 供試生物数 : 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度 : 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー質量分析 (LC/MS)

試 験 結 果 :

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、調製時において 93～108%、
換水前において 91～109%であった。

2) 21日間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	3.00	1.86～4.84
50%繁殖阻害濃度 (EC50)	1.87	1.67～2.21
最大無作用濃度 (NOEC)	0.832	—
最小作用濃度 (LOEC)	1.86	—